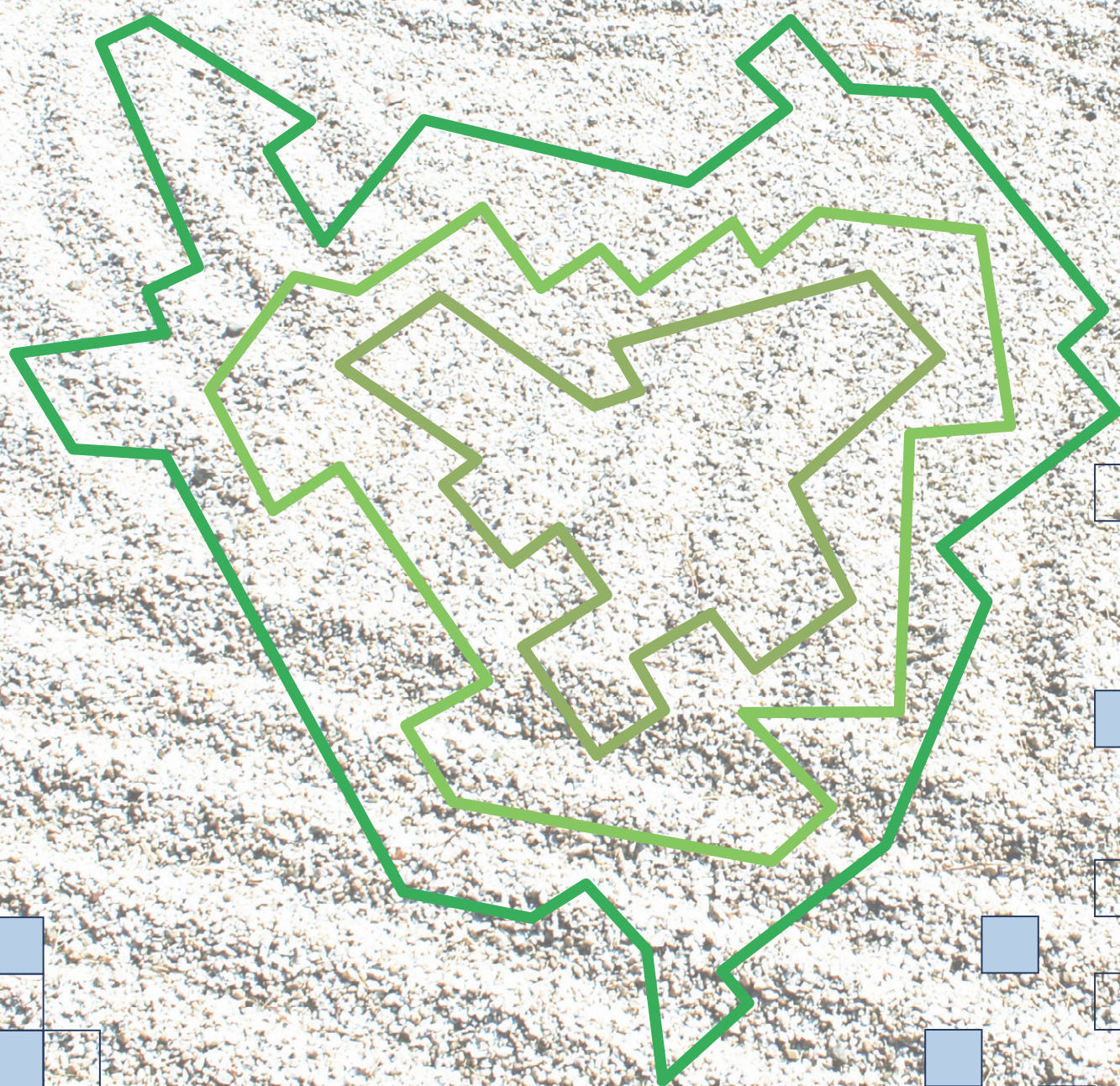


岸和田城庭園（八陣の庭）保存活用計画



岸和田市教育委員会

はじめに

岸和田市の中心的な文化遺産である「岸和田城跡」にある、「八陣の庭」が、平成 26 年 10 月 6 日、国の名勝に指定されました。喜びと同時に「どうして現代庭園である八陣の庭が」という思いを抱きました。

しかし、戦後、児童公園の計画がだされた城跡をまもるため、市長が、当時の最高の作庭家である重森三玲氏に設計施工を依頼し、この庭が現在まで城と共にあることに価値があると指定に至る経緯を伺ったとき、得心致しました。庭園が、岸和田城 400 年の歴史に連続性をもたらし、その歴史的重層性が今回の指定の根幹にあることを学びました。

このたび、国指定名勝「岸和田城庭園（八陣の庭）」の保存活用計画を刊行する運びとなりました。計画には、岸和田城と庭園の歴史をさらに将来へと引き継ぐために必要な基準が明示されています。作庭の経緯、そして、庭園の価値、現状、保存に向けての課題、大綱となる 5 つの基本方針、それを受けて、この庭をどのように保存、管理、活用していったらよいのかを定めています。

こうした文化遺産を後世に引き継ぐことは、現代に生きる者の責務です。文化財の継承は、郷土愛を育くみ、地域の核となり、観光や岸和田の周知に必須なものです。

また、文化財の継承は、行政だけの責務ではなく、多くの皆様のお力添えが必要です。この計画が文化財の継承の一助になれば幸いです。

文末になりましたが、本計画を策定するにあたり、策定委員の先生方、文化庁や大阪府、本市関係各課には、様々なご支援・ご指導・ご尽力をいただきました。ここに深く感謝を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

岸和田市教育委員会

教育長 樋口利彦

例 言

1. 本書は、大阪府岸和田市岸城町に所在する名勝岸和田城庭園（八陣の庭）の保存活用計画書である。
2. 本計画の策定は、平成 28 年、29 年度に岸和田市教育委員会が国庫補助金の交付を受けて実施した。
3. 本計画は、「岸和田城庭園（八陣の庭）保存活用計画策定委員会」を設置して計画内容について審議を行い、関係機関、関係各課等との調整を経て策定したものである。
4. 策定に関わる事務は、岸和田市教育委員会生涯学習部郷土文化室が担当した。
5. 本計画の策定あたっては、文化庁文化財部記念物課、大阪府教育庁文化財保護課より多大なご協力とご助言を賜った。



目 次

第 1 章 計画策定の目的	1
1. 保存活用計画策定の目的.....	1
2. 保存活用計画策定委員会の設置・経過.....	2
3. 他の計画との関係.....	3
4. 計画の実施.....	5
第 2 章 名勝をとりまく環境	6
1. 本市の自然的環境.....	6
2. 指定地周辺の歴史的環境.....	6
3. 本市の社会的環境.....	7
第 3 章 名勝の概要	12
1. 指定に至る経緯.....	12
2. 指定の状況.....	13
第 4 章 名勝の本質的価値	16
1. 名勝の本質的価値.....	16
2. 現代における近世城郭の保存の象徴.....	16
3. 名勝を構成する要素の特定.....	17
第 5 章 名勝の現状と課題	20
1. 保存（保存管理）	20
2. 活用.....	46
3. 整備.....	60
4. 運営・体制の整備.....	62
第 6 章 大綱・基本方針	63
第 7 章 名勝の保存	64
1. 方向性	64
2. 方法.....	65
3. 現状変更等に関する基準.....	68
4. 文化財の現状変更等許可申請を要する行為.....	69
5. 現状変更等許可申請が不要になる場合の具体的事例.....	72

第 8 章 名勝の活用	74
1. 方向性.....	74
2. 方法.....	74
第 9 章 名勝の整備	76
1. 方向性.....	76
2. 方法.....	76
第 10 章 名勝の運営・体制の整備	79
1. 方向性.....	79
2. 方法.....	79
第 11 章 施策の実施計画の策定・実施	80
1. 施策の実施計画	80
第 12 章 経過観察	81
1. 方向性.....	81
2. 方法.....	81
挿図目次	
図 1-1 岸和田市位置図および岸和田城周辺地図	1
図 1-2 関連計画との関係図	3
図 1-3 まちづくりビジョン将来構想より	4
図 1-4 名勝指定地周辺都市計画図	5
図 2-1 市内主要交通図	7
図 2-2 指定文化財分布図	11
図 3-1 名勝指定範囲	14
図 4-1 八陣の庭周辺図（大阪府指定史跡・周知の埋蔵文化財包蔵地ほか）.....	17
図 5-1 陣の配置図	21
図 5-2 岸和田城石垣修理位置図・修理履歴	44
図 5-3 構成要素Ⅰ区・Ⅱ区分け図	48
図 7-1 岸和田城庭園（八陣の庭）保存活用計画対象範囲	65
図 9-1 石碑等状況図	77
図 10-1 組織図	79

図版目次

岸和田市所蔵 「岸和田城趾千亀利公園 本丸八陣ノ庭平面及立面設計図」 重森三玲	
岸和田城庭園（八陣の庭）全景（昭和 28 年）	図版 1
八陣の庭 作庭前（戦前撮影）	図版 1
南東側にあった木製の橋が写る 奥の建物は旧制第 6 中学校 （現在の大阪府立岸和田高等学校）（昭和 18 年撮影）	図版 2
天守礎石が残る天守台上部（昭和 18 年撮影）	図版 2
石組設置中（根石を噛ませた風陣と施工中の大將）（昭和 28 年）	図版 3
施工中の石組（手前は雲陣 天守閣が建つ前の天守台上から撮影）（昭和 28 年）	図版 3
施工直後の天陣（昭和 28 年）	図版 4
施工直後の雲陣（昭和 28 年）	図版 4
砂紋を描く前の風陣（昭和 28 年）	図版 5
砂紋を描く前の天陣付近（昭和 28 年）	図版 5
砂紋を描いた八陣の庭（昭和 30 年代）	図版 5
重森三玲主催のモデル撮影会（昭和 30 年）	図版 6
モデルの様子と天守閣入口付近にあった松が写る（昭和 30 年）	図版 6
重森三玲主宰の前衛生花グループ白東社の野外生花展開催（昭和 30 年）	図版 7
同野外生花展モニュメント（昭和 30 年）	図版 7
重森三玲本人が描いたと考えられる砂紋（昭和 29 ～ 30 年）	図版 8
天守閣建設中の八陣の庭の様子（昭和 29 年頃）	図版 9
完成直後の天守閣と八陣の庭（昭和 29 年頃）	図版 9
城門、多聞櫓、土塀が無かったころの城大手の様子（昭和 30 年代）	図版 10
城門、土塀が無かったころの城大手の様子 奥は昭和 36 年建設の心技館（昭和 30 年代か）	図版 10
隅櫓、多聞櫓が無い頃の八陣の庭 奥は昭和 36 年建設の心技館（昭和 30 年代後半か）	図版 10
現在の隅櫓、多聞櫓の状況（平成 29 年）	図版 10
南側土塀施工状況（昭和 45 年～ 46 年）	図版 10
南側土塀の現在（平成 29 年）	図版 10
隅櫓、多聞櫓建設状況（昭和 44 ～ 45 年）	図版 10
現在（平成 29 年）	図版 10
城門竣工当時 当初は白地木板黒鉄板押鉋止仕上げ（昭和 45 年以降）	図版 11
現在 黒地木板黒鉄板押鉋止仕上げ（平成 29 年）	図版 11
岸和田城周辺航空写真（昭和 40 年代か）	図版 11
八陣の庭 各陣破損状況 概略図 1	図版 12
八陣の庭 各陣破損状況 概略図 2	図版 13
名勝指定地全景図	図版 14
日本庭園庭園史大系 29 付図 「岸和田城庭園平面図」	図版 15
植生調査現況図	図版 15